

第 51 回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫

開催要項・競技実施要項

本大会：2024年5月18日（土）～19日（日）

予備日：5月25日（土）

軟式野球競技・テニス競技・ゲートボール競技

主 催：近畿ろうあ連盟

主 管：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

第51回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫 開催要項

1. 目的 近畿地区のろうあ者がスポーツを通じて技を競い、健康な心体を養い、自立と社会参加を促進し、併せて国民のろう者に対する正しい理解を深めるために開くものである。
2. 名称 第51回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫
①第77回軟式野球競技 ⑥第34回ボウリング競技
②第63回卓球競技 ⑦第7回フットサル競技
③第61回バレーボール競技 ⑧ゴルフ競技（オープン）
④第44回テニス競技 ⑨グラウンドゴルフ競技（オープン）
⑤第40回ゲートボール競技
3. 開催日程 2024年（令和5年）5月18日（土）～21日（日）
予備日 5月25日（土） ※軟式野球、テニス、ゲートボール
監督主将会議 4月28日（日） 兵庫県立のじぎく会館
4. 会場 兵庫県明石市内運動施設、小野市匠台体育館、青野運動公園ゴルフコース
5. 主催 近畿ろうあ連盟
6. 主管 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
第51回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫 実行委員会
7. 競技主管 兵庫県軟式野球連盟 兵庫県卓球協会 一般財団法人兵庫県バレーボール協会
一般社団法人兵庫県ゲートボール連盟 一般社団法人兵庫県ボウリング連盟
一般社団法人兵庫県テニス協会 NPO 法人兵庫県フットサル連盟
（オープン）兵庫県グラウンド・ゴルフ協会、兵庫県ゴルフ連盟
8. 後援 兵庫県 明石市 加西市 小野市
明石市教育委員会
(予定) 社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会
公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会
公益社団法人兵庫県障害者スポーツ協会
社会福祉法人兵庫県聴覚障害者福祉協会
公益財団法人神戸新聞厚生事業団
9. 協力 兵庫手話通訳問題研究会、兵庫県手話サークル連絡会
(予定)
10. 助成 公益財団法人神戸新聞厚生事業団

11. 日程および会場

4月28日(日) 監督主将会議

13:00~16:00	兵庫県立のじぎく会館
-------------	------------

5月18日(土) 開会式

10:00~12:00	明石中央体育館 第1競技場
-------------	---------------

5月18日(土)	5月19日(日)	競技	会場
13:30~ 16:30		第77回軟式野球競技	明石公園第1野球場 (トーカロ球場)
12:30~ 16:30	9:30~ 16:30	第63回卓球競技	明石中央体育館 第2競技場
13:30~ 16:30		第61回バレーボール競技 (男女別)	明石中央体育館 第1競技場
9:00~ 19:30		第44回テニス競技	明石市海浜公園 テニスコート
13:30~ 16:30		第40回ゲートボール競技	明石市海浜公園 運動場
10:00~ 17:00	9:00~ 17:00	第34回ボウリング競技	スーパーボウル二見
10:00~ 17:00	10:00~ 15:00	第7回フットサル競技	小野市匠台体育館
	9:00~ 17:00	(オープン) ゴルフ競技	青野運動公苑 ゴルフコース
	9:00~ 17:00	(オープン) グラウンドゴルフ競技	大蔵海浜公園 多目的広場

予備日: 5月25日(土)		
10:00~17:00	第77回軟式野球競技	明石海浜公園野球場
9:00~18:00	第44回テニス競技	明石海浜公園テニスコート
9:00~17:00	第40回ゲートボール競技	明石海浜公園運動場

12. 競技規則 別紙「競技実施要項」による

第 51 回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫 競技実施要項

1. 趣旨

近畿ろうあ者体育大会は、近畿地域在住のろうあ者の間にスポーツを振興して、その普及発展と民主的なスポーツ精神の高揚を図り、あわせてろうあ者の健康を増進し、その生活を明朗にしようとするものである。この趣旨にのっとり、盛大かつ友好的な大会にすべく鋭意努力する中で、初期の目的の達成を期して本「競技実施要項」を定めるものである。

2. 実施方針

- ①本大会は、軟式野球、卓球、バレーボール、テニス、ゲートボール、ボウリング、フットサルの7競技を行う。
- ②団体競技については、バレーボールおよびフットサル2チーム以上（男女別）、ゲートボール3チーム以上、軟式野球は全国体育大会近畿ブロック代表権獲得のため2チーム以上で実施可能とする。但し、軟式野球1チームの場合は実施しないものとし、代表権を与える。以上の参加申込をもって実施する。
- ③個人競技については、次の通り実施要件を定める。
20人以上（男女合計）の参加申込をもって実施する。上記実施要件に満たない場合は、近畿ろうあ連盟にて協議の上、開催の可否を判断する。
- ④前項②③にもとづく競技の実施可否は、予備エントリー及び正式参加申込の結果によって決定する。
- ⑤予備エントリーについては、例年10月中旬に近畿ろうあ連盟加盟団体あてに、案内書及び回答書を送付し、例年11月上旬に申し込みを締め切るものとする。
- ⑥本大会は、雨天の場合も原則として決行するが、競技場の状態等により決行不能の場合は延期とし、予備日に行う。
- ⑦競技規則は、本競技実施要項内「10.各競技実施要項」のとおりとする。

3.参加資格

- ①役員は、近畿ろうあ連盟加盟団体の会員であって、定められた大会参加料及び近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた者。また、連盟加盟団体の会員でないきこえる監督・コーチ・マネージャー等で、定められた大会参加料及び近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた者。個人参加申込書及び競技別申込書にその旨を明記すること。
- ②選手は、近畿ろうあ連盟加盟団体の会員であって、定められた大会参加料及び近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた毎年4月1日現在で15歳以上のきこえない人。また、連盟加盟団体の会員でないきこえない高校生で定められた大会参加料及び近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた者。個人参加申込書及び競技別申込書に学校名、在学年を明記すること。
- ③団体競技は、近畿ブロック内の各府県協会に1競技につき複数チームが参加できる。

4.申込方法

- (ア) 所定の個人参加申込書、参加誓約書、競技別参加申込書に大会参加料（後項のカ）及び登録料（後項のウ）を添え、**2024年4月14日（日）必着**で、所属する協会体育部長に送付する。
- (イ) 所属協会体育部長は、参加申込総括書に必要事項を記入の上、(ア)の各種申込書を含めて

協会公印を捺印し、**2024年4月21日（日）必着**で、実行委員会事務局宛へ送付する。
所属協会体育部長はその控えのコピーを保管すること。

- (ウ) 近畿ろうあ連盟体育部登録料は、一人につき1,000円とし、各協会体育部長及び近畿ろうあ連盟体育部常任委員(競技技術委員含む)、監督、コーチ、マネージャー、選手全員が大会参加申込時に登録料を納めなければならない。参加申込締切日(4の(ア))以降は、理由の如何にかかわらず返金しない。
- (エ) 各協会体育部長が、指定の登録申請書を作成する。競技別に001から通し番号で記入する。
- (オ) 4の(ウ)の登録申請書は1通ごとに協会公印を捺印し、大会開催日までに近畿ろうあ連盟体育部事務局長へ送付する。登録料は近畿ろうあ連盟体育部会計部長に納めるものとする。
- (カ) 大会参加料については、競技および種目別に次表のとおりとし、参加申込時に実行委員会へ納めるものとする。参加申込締切日(4の(ア))以降は、理由の如何にかかわらず返金しない。

	競技	一般	高校生
個人参加料	軟式野球・卓球・バレーボール・ゲートボール・フットサル	3,500円	2,000円
	テニス	4,000円	2,500円
	ボウリング	9,000円	7,500円
	ゴルフ	15,000円	—
	グラウンドゴルフ	3,000円	—
団体参加料	軟式野球／1チーム	9,000円	減免対象外
	卓球／男女別1チーム	5,000円	減免対象外
	バレーボール／男女別1チーム	5,000円	減免対象外
	ゲートボール／1チーム	5,000円	減免対象外
	ボウリング／男女別1チーム	2,000円	減免対象外
	フットサル／男女別1チーム	5,000円	減免対象外
ダブルス戦	卓球／1組	2,500円	減免対象外
	テニス／1組	3,000円	減免対象外

- ①卓球、テニスのシングルス戦に出場しない場合でも個人参加料を納めなければならない。
- ②卓球、テニスのダブルス戦については、1協会からの参加選手が奇数の場合は、他府県加盟団体(協会)の選手と組むことが出来る。但し、その場合はそれぞれの選手がダブルス組み合わせ同意書(様式1)に必要事項を記入の上、所属協会体育部長へ送付し、体育部長は協会公印を押印のうえ、一括参加申込締切日(4の(イ))までに実行委員会事務局へ提出しなければならない。
- ③ダブルス戦参加料は各選手の折半とし、卓球は1人当たり1,250円、テニスは1,500円とする。
- ④団体参加料は、選手、チームが所属する協会が負担する。

5.監督主将会議

- ①各競技の監督主将会議を次のとおり実施し、各競技の組合せ抽選等を行なう。

- 1) 日時：2024(令和6)年4月28日(日) 13:00～16:00
- 2) 場所：兵庫県立のじぎく会館
- ②この会議への出席資格は、各競技の監督および主将またはその代理人とし、男女各チームでそれぞれ2名以内とする。
- ③この会議には、各競技の審判長も同席し、技術員及び実行委員と事前打合せを行なうこと。
- ④監督、主将がともに当日欠席したチームは、技術員に委任したものとみなす。
- ⑤やむを得ず代理人が出席する場合は監督または主将が作成した代理届・委任状(様式2)を監督主将会議開始時間までに所属する協会体育部長を通して実行委員会事務局に提出しなければならない。
- ⑥出席者は、必ずスポーツマンに相応しい服装で出席すること。

6. 組合せ抽選について

競技名	種目名	監督・主将会議で行う	審判長立会いで行う	備考
軟式野球	団体戦	○	○	
卓球	団体戦	○	○	男女とも前回優勝、準優勝チームはシードする
	シングルス戦	○	○	男女とも前回ベスト4までシードする
	ダブルス戦	○	○	男女とも前回優勝、準優勝チームはシードする
バレーボール	団体戦	○	○	
テニス	シングルス戦	○	○	
	ダブルス戦	○	○	
ゲートボール	団体戦	○	○	
ボウリング	団体戦	○	○	
	個人戦	-	○	
フットサル	団体戦	○	○	

7. 選手変更・追加について

- ① 選手または監督・コーチの変更がある場合は、各競技とも監督主将会議開始時間までに、登録選手変更届(様式4)または監督・コーチ変更届(様式3)及び個人参加申込書及び参加誓約書、大会参加料、登録料を添えて所属する協会体育部長へ提出すること。
- ② 団体競技による選手追加の場合は、各競技とも監督主将会議開始時間までに、選手追加届(様式5)に個人参加申込書及び参加誓約書、大会参加料、登録料を添えて所属する協会体育部長へ提出すること。但し、個人戦の選手追加は認めない。
- ③ 所属協会体育部長は、受理した様式を速やかに実行委員会事務局に提出するとともに、控えのコピーを保管すること。
- ④ 事故や病気等による緊急事態があった場合の選手または監督・コーチ等の変更は、大会開

催日の競技開始式時間までに該当する競技技術委員に登録選手変更届（様式4）または監督・コーチ変更届（様式3）を提出すること。なお、緊急事態の場合の大会参加費および近畿ろうあ連盟体育部登録料の追徴はする。また、変更によって参加することになった選手または監督・コーチは、個人参加申込書、参加誓約書を所属する協会体育部長に提出しなければならない。

8.表彰

(A) 団体戦について

- ① 団体戦の優勝旗・優勝杯・準優勝盾（軟式野球のみ）は、持ち回りとする。
- ② 優勝旗・優勝杯（軟式野球のみ準優勝盾も）の返還の際、前回優勝記念レプリカ（軟式野球の場合、準優勝記念レプリカも）を授与する。
- ③ 賞状は、優勝、準優勝、3位チームに授与する。（3位決定戦を行う場合に授与する。）
- ④ メダルは、優勝、準優勝、3位チーム全員に授与する。（3位決定戦を行う場合に授与する。）

競技種目		優勝旗	優勝杯	準優勝楯
軟式野球		○	×	○
卓球団体戦	男子	×	○	×
	女子	×	○	×
バレーボール	男子	×	○	×
	女子	×	○	×
ゲートボール		×	○	×
ボウリング団体戦	男子	×	○	×
	女子	×	○	×
フットサル	男子	×	○	×
	女子	×	○	×

(B) 個人戦について

卓球、テニス、ボウリング競技の個人戦の優勝、準優勝、3位の者に、賞状及びメダルを授与する。なお、ボウリング競技については4～6位までの者に賞状を授与する。

(C) ダブルス戦について

卓球、テニスの男子、女子、混合の各ダブルス戦の優勝、準優勝、3位の者に、賞状（連名記入したものを2枚ずつ）およびメダル（2個ずつ）を授与する。

(D) 軟式野球の個人賞については、最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞、敢闘賞を授与する。

(E) バレーボール、フットサルの個人賞については、男女とも、最優秀選手賞、敢闘賞を授与する。

(F) ボウリングの個人賞については、男女とも、最高得点者（12ゲームの内の1ゲーム最高得点）にハイゲーム（HG）賞を授与する。男女とも、全得点最高優秀者（3ゲームの合計最高得点者）ハイシリーズ（HS）賞を授与する。

9. 参加申込・連絡先

第51回近畿ろうあ者体育大会実行委員会事務局

〒650-8691 兵庫県神戸市中央区元町通6-1-1 栄ビル8階

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会内

TEL:078-371-5613 / FAX:078-371-0277 / Mail : info@hyogodeaf.com

【参加料 振込先】

〔銀行名〕 ゆうちょ銀行 一一九支店

〔口座番号〕 当座 0055481 (振替：01110-2-55481)

〔口座名義〕 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

シヤ) ヒョウゴケンチョウカクショウガイシャキョウカイ

10. 各競技実施要項

1. 軟式野球

(1) 競技種目

軟式野球競技とする。

(2) 出場資格

- ①近畿ろうあ連盟加盟団体会員で、近畿ろうあ連盟体育部登録したのによって編成されたチームとする。
- ②各府県より1チーム以上参加できるが、同一府県の参加チームが多くて競技運営に支障をきたす場合は、その府県でチーム数を調整しなければならない。
- ③加盟団体単位でチームを編成できない場合は近畿ブロック内に限り、2つ以上の加盟団体で連合チームを編成することができる。方法として単独チームを組むチームに加入、また単独チームを編成できない加盟団体同士がチームを組むことが可能。この場合、後者については、連合であることが明確なチーム名にすること。

(3) チームの編成

- ①チームの編成は、監督、コーチ、マネージャーを含めて20名以内とする。
- ②監督またはコーチが選手を兼ねる場合は、20名の範囲内で登録されていなければ選手として出場できない。(注意：申込書(登録)備考欄に監督、コーチとして記載とする)
- ③背番号は監督30番、コーチ29番、主将10番とし、選手は0番から99番とする。

(4) 競技方法

- ①試合形式は参加チーム数により、リーグ戦かトーナメント戦どちらを用いるかを主管団体が決定する。
- ②試合(3位決定戦を含む)を7イニング制とする。但し、規定の回数までまたは制限時間内に勝負が決しない場合は、抽選により勝敗を決定する。
- ③決勝戦は、既定の回数または制限時間までに勝敗が決まらない場合は、特別延長方式を2イニングまで実施とする。特別延長も勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決定する。
- ④試合時間については時間制を採用し、1時間40分を経過した場合には新しいイニングには入らないものとする。
- ⑤使用球は、全日本軟式野球連盟公認M号ボールとし、メーカー等は主管団体において決定する。
- ⑥本大会参加チームが2チーム以下の場合、決勝戦試合形式とする。

(5) コールドゲーム

- ①試合の時間を1時間40分とし、1時間40分を過ぎて新しいイニングには入らないものとする。よって、1時間40分を正式試合の時間とし、試合は成立したものとする。また、ゲーム中断等によるロスタイム等の計測については、担当審判員の判断により実施するものとする。
- ②4回以降7点差が生じた場合は、コールドゲームとする。但し、決勝戦は点差によるコールドゲーム制は採用しない。
- ③日没、降雨、その他の事情によりプレーヤーが危険にさらされる恐れのある場合、コールドゲームとする。これは、次のとおりとする。
- ④4回あるいはそれ以上のイニングを終了している場合。
- ⑤4回裏の後攻チームが攻撃中であっても、後攻チームが先攻チームより多くの得点を得た場合および同点の場合。なお、同点の場合は、抽選によって勝負を決する。
- ⑥コールドゲームの得点は、最後の均等回終了時の得点による。但し、その最終回が未了であっても、後攻チームが先攻チームより多くの得点を得ている場合および同点の場合は、均等回の終了を要しない。
- ⑦リーグ戦の場合、コールドゲームは適用しない。

(6) 特別延長方式(タイブレーク方式)

- ①継続打順とし、前回の最終打者を1塁、2塁の走者は、順次前の打者(投手を含む)として、無死1、2塁の状況によりイニング行ない得点の多いチームを勝者とする。
- ②特別ルールによる延長戦を2イニング実施しても勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決定する。

(7) 用具等

- ①打者・走者・ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。
- ②守備中の捕手は、ヘルメット、プロテクター及びレガースを着用しなければならない。
- ③捕手はファールカップを着用する。

(8) 組合せ抽選

- ①監督主将会議において組合せ抽選を行なう。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は、同会議における受付順とする。

(9) 表彰

- ①決勝戦終了後、閉会式にて行なう。団体表彰は、優勝、準優勝(3位決定戦を行う場合は3位も)とし、個人表彰は最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞、敢闘賞とする。
- ②最優秀打者賞は決勝戦進出2チームの全試合を対象とし、規定打席を設けて選考する。

(10) その他

- ①試合中にベンチに入ることのできる者は、登録された監督・コーチ・選手・マネージャーとする。マネージャーはスポーティな服装、野球帽子を着用しなければならない。
- ②試合開始予定時刻30分前に会場に集合すること。集合時間に遅れたチームは、原則として棄権したものとみなす。
- ③ベンチは、組合せ番号の若いチームを1塁側とする。
- ④シートノックは5分間とする。但し大会運営上、中止または短縮する場合がある。ノッカーもユニフォームを着用すること。
- ⑤ユニフォーム、帽子については、同一チームの選手の同色、同衣装で統一された品位の

あること。

⑥その他については大会本部の指示に従うこと。

2017年2月11日 作成

2018年2月18日 競技規則修正

裾の幅広いズボン着用禁止を削除する。

捕手はファールカップ着用を追記

2018年11月18日 その他：試合中にベンチに入ることができる者について修正

2019年5月12日 一部改正

2020年3月8日 一部改正：競技規則を削除

2024年2月3日 一部改正

2. 卓 球

1. 競技種目

団体戦：男子団体、女子団体

個人戦：男子シングルス、女子シングルス

ダブルス戦（男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス）

2. 競技規則

大会開催年度の日本卓球ルール及び本大会申合せ事項による。

3. 出場資格

①団体戦について

チーム編成は、男子の場合3～6名まで、女子の場合2～5名までとする。

チームスタッフ、監督、コーチ、マネージャー各1名を登録することが出来る。

加盟団体よりチーム編成が出来ない場合、チーム編成が出来ない異なる加盟団体とチームを作ることができる。

②シングルス戦、ダブルス戦について

シングルス戦、ダブルス戦は参加制限しない。

ダブルスペア編成については原則として地元優先であること。

しかし、加盟団体チーム内での人数によってダブルスのペアが組めない場合、異なる加盟団体の選手と組むことが出来る。

4. 競技方法

①団体戦は参加数により、以下の方法で行う。

但し参加状況、情勢によりダブルス中止などの競技方法を変更することがある。

- ・ 5チーム以上の場合、いくつかのブロックに分けた予選リーグ戦とし、各ブロック1位、もしくは1、2位チームがトーナメント戦出場とする。但し、会場や時間などの都合により参加状況によってはトーナメント戦になることもありえる。
- ・ 4チーム以下の場合、総当りリーグ戦とする。

②リーグ戦の順位決定は勝者2点、敗者1点、棄権0点で得点計算をして決定する。

（現行日本卓球ルールによる）

③勝敗の決定（団体戦）は、各11点5ゲームマッチ（3ゲーム先取勝）とする。

④団体戦は、男子では世界選手権の団体戦方式とし、3名のシングルスによって試合を行い、3点先取勝とする。

女子では1番シングルス、2番シングルス、3番ダブルス、4番シングルス、5番シングルス
5試合で3点先取勝とする。但し、ダブルスが情勢により中止となった場合、男子と同じ方式と
す
る。

- ・男子団体戦組合せ方法（3名による5シングルス、3点先取勝）

A	B	C	A	B
X	Y	Z	Y	X

- ・女子団体戦組合せ方法（2～4名による4シングルス1ダブルス、3点先取勝）

【出場選手が2人の場合】

【出場選手が3人の場合】

【出場選手が4人の場合】

A	B	AB	A	B
X	Y	XY	Y	X

		BC		
A	B	AC	A	C
X	Y	YZ	Y	Z
		XZ		

A	B	ダブルス	C	D
W	X	ダブルス	Y	Z

⑤個人戦、ダブルス戦ともトーナメント方式で行う。但し、参加状況により競技方法を変更することがある。

11点5ゲームマッチ（3ゲーム先取勝）にて行う。

⑥ダブルス戦で、男子は男子ダブルス戦、混合ダブルス戦は、いずれか1種目のみ選択すること。
女子は女子ダブルス戦、混合ダブルス戦、両方参加する事が出来る。

⑦タイムアウト適用については、競技主管で決定するものとする。

⑧情勢によりダブルス戦を中止することがある。

5.申し合わせ事項

①競技者の半袖シャツ、ショーツ、スカートは、JTTAの公認マーク付きのものを使用してください。

②半袖シャツは団体戦やダブルス戦の場合、全ての試合において、チーム又はパートナーは同一の柄の半袖シャツ着用とすること。ショーツは同色であれば、よいとする。

③ゼッケンは、JTTA公認のゼッケンか、下図の様式の通り作成し、背部に着用すること。

縦21cm	氏 名 府 県 名
横28cm	

④会場及び時間の都合、または参加チーム及び選手が多いあるいは少ない場合、試合方式を変更することがあります。（場合によっては中止することもある）

⑤試合中のアドバイスについてはアドバイザー1名のみベンチに入れる。

（アドバイザーは競技者と共にベンチに入れること）

6.使用球

ボールはJTТА公認の40ミリボールを使用する。

(使用球のメーカーは主管協会が決めるものとする。色は白とする。)

7.組み合わせ方法

- ①団体戦の組み合わせは、監督・主将会議において、実行委員会と競技主管団体、技術委員、審判長の立会いのもとで、抽選により決定する。
- ②個人戦とダブルス戦の組み合わせは、①と同様のもとで、抽選により決定する。
- ③シードは下記の通りとする。シード並びは現行日本卓球ルールに従うこと。
男女団体戦…前回優勝、準優勝チーム
男女個人戦…前回ベスト4まで
男女混合ダブルス…前回優勝、準優勝チーム(但しパートナーの変更は不可)
個人戦…各種目ともひとつのエリアに同じ加盟団体選手が集中しないよう、配慮すること。

8.表彰

- ①団体戦は優勝チームに優勝カップ・賞状・メダルを、2位・3位チームには賞状・メダルを授与する。
- ②個人戦とダブルス戦は、1位から3位までに賞状・メダルを授与する。
- ③全競技終了後、表彰式を行う。

9.注意事項

- ①ダブルス組み合わせ同意書(様式1)は、参加申込書と同様、通常締め切りとする。
- ②競技進行はタイム・テーブルによって行うので、各自の出場時間及びコートを予め確認しておくこと。
しかし進行の都合で試合予定のコートや時間を変更することがありますので、その場合、競技者は競技役員の指示に従ってください。
- ③団体戦のオーダーは、第1試合は〔〕時(監督・主将等合同会議にて決定)、第2試合以降は対戦チームが決定次第直ちに提出すること。
- ④その他については、大会本部又は競技役員の指示に従うこと。

10. 本競技実施要項の改正

2009年11月	1日	一部改正
2011年11月	23日	一部改正
2016年	1月31日	一部改正
2017年	12月10日	一部改正
2018年	2月18日	一部改正

3. バレーボール

(1) 競技種目

バレーボール競技(男子及び女子の2種目)とする。

(2) 競技規則

- ①大会開催年度の(公益財団法人)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- ②使用球は、(公益財団法人)日本バレーボール協会検定5号球カラーボール

※ボールメーカーは実行委員会で決定する。

③ネットの高さは男子（2 m 4 3 c m）、女子（2 m 2 4 c m）とする。

（3）出場資格

男女とも、加盟団体単位で2チーム以上参加できるがチームを編成できない場合は近畿ブロック内に限り、2つ以上の加盟団体で連合チームを編成することができる。方法として単独チームを組むチームに加入、また単独チームを編成できない加盟団体同士がチームを組むことが可能。この場合、後者については、連合であることが明確なチーム名にすること。

（4）チームの編成

①1チームの人数は、監督、コーチ含むスタッフ4名、選手12名以内 計16名以内とする。

②選手12名のうち、リベロ・プレーヤーは2名まで登録できる。

③監督、コーチまたはマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手登録名簿に記載しておくこと。

（5）競技方法

①競技は、トーナメント方式によるものとする。但し、参加チームが少ないときは、監督主将会議にて確定とする。

②全試合3セットマッチとする。

③参加チームが2チームになった場合は5セットマッチとする。

（6）組み合わせ

組み合わせは、監督主将会議において抽選により決定する。男女とも前回優勝・準優勝チームはシードする。

（7）表彰式

①表彰式は決勝戦終了後に行う。

②統一服装で参加すること。

（8）注意事項

①試合開始前・セット間及び終了後の手順は別表プロトコールのとおりとする。

②試合開始は、特に時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。なお、同チームの試合が連続する場合は15分間の休憩の後プロトコールに入る。

③オーダー用紙は、キャプテンがトスをするとき提出する。

④公式練習からはエントリーされた者だけが競技場に入場できる。

⑤負傷の原因となるピン、指輪、腕輪、かぶりもの、その他金属装身具等を身につけて競技してはならないが、眼鏡は自分の責任において使用する。

⑥主将は、ジャージ色と異なった色の幅2cm、長さ8cmのマークをユニフォームの胸部の番号の下に明確に付けること。

⑦監督・コーチ・マネージャーは下記のマークを左胸部に付けること。マークの大きさは直径6cm程度で各チームが準備すること。



（9）本競技実施要項の改正

2009年11月1日 一部改正

2011年11月23日 一部改正

2012年11月23日 一部改正
2016年 1月31日 一部改正
2016年11月27日 一部改正
2017年12月 1日 一部改正

4. テニス

(1) 競技種目

1部・2部ごとに分けて、下記種目を行う。

1部 シングルス戦 : 男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 : 男子ダブルス・女子ダブルス

2部 シングルス戦 : 男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 : 男子ダブルス・女子ダブルス

※但し、参加状況により1部・2部を統合する場合がある。

(2) 競技規則

大会開催年度の(公財)日本テニス協会のテニス競技規則及び本大会申合せ事項(以下「JTA競技規則」)によるものとするが、監督主将会議にて協議の上、変更、追加する場合がある。

(3) 出場資格

出場人数について、加盟団体毎に制限を設けない。

①1部は無制限だが、2部はシニア(男女45歳以上)またはテニス経験2年以下の初心者が望ましい。

②選手は1部と2部の両方同時出場はできない。

③1部、2部とも、シングルス・ダブルスの単数、複数出場はできる。

④シングルス2部でエントリーした選手が1部の選手と組む場合、その選手についてシングルスは2部、ダブルスは1部に出場とする。

⑤ダブルスパア編成については、原則として所属加盟団体内でのペアを組むものとする。但し、奇数人数により所属加盟団体内でのペアが組めない場合は、異なる加盟団体の選手と組むことが出来る。

(4) 出場選手規定

①出場者は集合の定刻までに来場し、本部に届け出ること。定刻に遅れた選手、ペアは失格する。

②試合は本部から発表されたオーダーオブプレーに従い、遅滞なく続けなければならない。

③試合の遅刻による取扱いは、JTA競技規則による。

④ウォーミングアップは各大会日の第1戦目と決勝戦のみ3分以内とする。それ以外の試合はサーブ4本のみとする。但し、天候、試合の進行状況等によっては変更する場合がある。

⑤服装とシューズについては、原則JTA競技規則に従うものとするが、監督・主将会議にて協議し変更する場合がある。

⑥けいれん等の怪我や体調不良による試合の中断は、JTA競技規則によるものとする。

⑦傷害等の応急措置は、主催者側で行うが、その後の責任は主催者側では負わない。

⑧試合の勝者は、その試合で使用したボールを敗者に授与し、試合の記録と結果を本部に届けることとする。

(5) 競技方法

- ①各種目ともトーナメント方式とする。但し、天候状況、参加状況、試合の進行状況によっては変更する場合がある。
- ②各種目とも1セットマッチ（6ゲームズオールタイムブレーク 7ポイント）とする。
- ③公認ボール（ダンロップ・フォート、イエロー）を使用する。
- ④テニスコートは原則オムニ（砂入り人工芝コート）とするが、コートの事情によりこれに限らない。
- ⑤各種目とも決勝戦のみ主審・副審をつけることとする。
- ⑥基本的に1日目はダブルス戦、2日目はシングルス戦とするが、天候等によりこの限りではない。

(6) 組み合わせ

- ①参加申し込み締め切り後、監督主将会議において、実行委員と技術委員、審判長立ち会いのもとでの抽選により決定する。
- ②1回戦は同クラブ同士の対戦とならないように配慮を行なう。

(7) 天候等による規定

- ①天候等による試合方式の変更及び中止の決定は、大会本部（常任委員と審判員又は技術委員）とする。
- ②天候等により試合が延期・中止になった場合は一日のみ延期日を設けるが、その場合

は

シングルスを優先とする。

(8) 表彰

各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。但し、天候等によりこの限りではない。

(9) その他

上記以外の規定は大会本部の指示に従うこと。

(10) 本競技実施要項の改正

- | | |
|-------------|------|
| 2010年11月1日 | 一部改正 |
| 2011年11月23日 | 一部改正 |
| 2012年11月23日 | 一部改正 |
| 2016年 1月31日 | 一部改正 |
| 2020年 3月 8日 | 一部改正 |

5. ゲートボール

(1) 競技種目

ゲートボール競技とする。

(2) 競技規定

大会開催年度（財）日本ゲートボール連合公式競技規則（2019）並びに審判実施要項とする。

(3) チーム数

加盟団体単位で何チームでも出場可。

(4) チーム編成

チームは、監督1名、競技者5名以上8名以内とし、その内1名を主将とする。但し、監

監督は専任とし、競技者を兼ねることはできない。また、監督がいなくてもチームは成立する。なお、年齢・性別は不問制限しない。

自チームが定員に満たない場合、近畿ブロック加盟団体の選手を入れる事が出来る。

(5) 試合方法

リンク戦で行う。(但し、試合形式は監督主将会議において確定する)

(6) 競技方法

- ①監督、主将のみコート内の自チームの競技者に指示を与えることができる。
- ②競技する競技者は、打者番号を胸部および背部に付けなければならない。
- ③競技は、チーム対抗で1チーム5名ずつの競技者によって行なう。
- ④先攻のチームは赤色(奇数番号)のボールを、後攻のチームは白色(偶数番号)のボールを持つものとする。
- ⑤競技の打順は、ボールに記された1番から10番までの番号とする。打順を誤順、他球を打った場合は打撃違反となり、移動した球は打撃時の位置に戻される。
- ⑥競技者は、最初のコールまたは継続プレーの権利が発生した時から10秒以内にボールを打撃しなければならない。10秒以内に打撃またはスパーク打撃をしなかった場合は反則となり、オーバータイムとする。
- ⑦交替競技者は2名までとし、オーダー表提出後、それぞれ1回に限り交替することができる。
- ⑧競技者の交替は、当該打順の通告を受けた時、競技者が競技開始前、競技中、打順通告する前までの交替は主将が審判員に申し出る。交替違反は退出、ボールは移動前の位置へ戻す。
- ⑨競技開始時に競技者が5名いない場合は棄権とし、競技を没収して、相手チームの勝ちとする。その場合は不戦勝とし、得点は8対0とする。
- ⑩審判員に競技を行なうよう命じられたにもかかわらず拒んだときは、競技拒否とみなしてその競技を没収し、相手チームの勝ちとする。
- ⑪正当でない競技者を出場させたときは不正出場とし、その競技は没収され、相手チームの勝ちとする。
- ⑫順位の設定方法は次の通りとする。
 1. 勝敗
 2. 得失点差
 3. 総得点
- ⑬同位同点の場合のゲート戦は、特設コートで実施する。
- ⑭ゼッケン、監督・主将腕章は各チームで用意すること。
- ⑮天候による中止または延期の決定は、競技場の判断及び大会本部(審判員、技術委員、実行委員会)とする。

(7) 本競技実施要項の改正

2011年11月23日 一部改正

2018年 2月18日 一部改正

2022年 2月20日 一部改正

6. ボウリング

(1) 競技種目

- ①個人戦：男子個人戦、女子個人戦
- ②団体戦：男子団体戦、女子団体戦

(2) 競技規定

- ①大会開催年度のJBC（公益財団法人全日本ボウリング協会）規則を準用する。
但し、リスタイとボールバランスホールの使用を認める。
- ②大会中の競技運営については、競技技術委員または競技実行委員に従うこと。

(3) チーム編成

- ①加盟団体単位で、男女とも何チームでも出場可。
- ②男子団体は1チーム4名、女子団体は1チーム3名とする。
- ③個人戦：何人でも可。
- ④H/Dは男女とも50歳以上5P、60歳以上10P、70歳以上15P、80歳以上20P、高校生15Pとする。但し、ハイゲーム、ハイシリーズの場合は予選のみを対象とし、スクラッチの得点にて決する。年齢ハンディの基準日は開催年度4月1日付満年齢とする。
- ⑤団体戦で自チームが定員に満たない場合、当該ブロックの加盟団体から男子は2名まで女子は1名まで補充できる。

(4) 競技方法

- ①団体戦、個人戦とも男子・女子各12ゲーム（団体前半3ゲーム、後半3ゲーム、個人前半3ゲーム、後半3ゲーム）を行なう。
- ②個人戦決勝進出は、男子の場合トータルピン上位12名、女子の場合上位6名とする。決勝戦は、男女とも3ゲームを行ない、15ゲームのトータルピンで順位を決定する。
- ③団体戦は、男子の部（1ゲーム4名）1人6ゲーム計24ゲームで合計得点により順位を決める。女子の部は（1ゲーム3名）1人6ゲーム計18ゲームで合計得点により順位を決める。

(5) 表彰

各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。

(6) スタート、ゲームセットについて

- ①スタートの合図時に練習時間に遅れた場合は棄権とみなす。
- ②スタートの合図時に遅刻した場合は失格とする。
- ③スタートの合図は緑色、ゲームセットは赤色の旗を用いる。

(7) スコアの確認

各ゲームのスコアをスコアカードに記載し提出する際、次のことに注意すること。

- ①選手自身がサインしなければならない。
- ②スコアの誤記、誤算が発見された場合は、本人の確認サインがあっても本人を呼び出し、訂正の承認をとり確定する。但し、競技会の進行上、呼び出し後5分以上は待たず、本人の承認以前に記録委員長が確定することがある。

(8) 使用ボールについて

- ①ボールラックには使用ボール1個までとする。
- ②ボールラックが狭い時は、ラックの下に置くこと。
- ③参加選手はマイボールを使用すること。
- ④ボールにテープ類の付着等、投球に有利な工作をした場合は失格とする。
- ⑤競技中のボールの破損、損傷については主催者も会場責任者も責任は負わない。

(9) タイスコア

タイスコアの場合は、次のとおりとする。

(A) その時点におけるシリーズのハイ、ローの差の少ない方を上位とする。

(B) その時点におけるゲームのハイ、ローの差の少ない方を上位とする。

(10) 競技服装等

- ①ユニフォーム着用を義務とする。着用なしは失格とする。またスポーツにふさわしくない服装、ハチマキなどは認めない。
- ②ユニフォームには都道府県名と名前を背部に必ず記入すること。
- ③団体戦の選手は、全員同じユニフォームを着用すること。

(11) 競技中の禁止事項

(ボウラズベンチ内及びコンコース)

- ①アプローチパウダーその他の物の使用、アプローチの状態の変更は禁止する。
- ②応援者との雑談、他選手へのアドバイス（但し団体戦で自チーム内は可）、喫煙、飲食、補聴器装着や携帯電話の使用、出場選手と監督と役員以外のボウラズベンチ内への立ち入り等は禁止する。

(12) その他

- ①メンバー及び投球順の変更は、様式6の所定用紙にて監督主将会議の終了時間までに提出すること。以降変更は出来ない。
- ②レーン割当は大会参加申込締切日以降、実行委員会において抽選により行う。レーンの変更はマシントラブル以外は認められない。
- ③ファールは次の投球者に移るまでとし、判定機故障により生じたと見られる場合は、競技技術委員が裁定する。
- ④BOX内にパフボウルの持ち込みを厳禁とする。
- ⑤競技に対する抗議は監督のみとする。
- ⑥スロー行為は注意することがある。
- ⑦競技会場へのボールの搬送等に関しては、実行委員会の定めるとおりとする。
- ⑧競技中トラブルが発生したときは、競技を一時中断し、競技技術委員の指示に従うこと。
- ⑨その他の事項で疑義が生じた場合は、大会競技技術委員においてこれを協議裁定する。

(13) 本競技実施要項の改正

2010年11月1日 一部改正

2012年11月23日 一部改正

7. フットサル

(1) 競技種目

フットサル競技（男子および女子の2種目）とする。

(2) 競技規定

大会開催年度の（公益財団）日本サッカー協会規定の「フットサル競技規則」及び本大会申合せ事項による。

(3) チーム編成

- ①加盟団体単位に編成したチームとする。ただし、加盟団体単位にチームを編成できない場合は、2つ以上の加盟団体で連合チームを編成することができる。
- ②1チームの編成は男女とも、監督・コーチ・マネージャーを含めて13名以内とし、最大5名までの交代要員を置くことができる。

(4) 競技方法

- ①競技は2チーム以上の参加により実施する。原則的にノックアウト方式により優勝以下3位までを決定する。ただし、出場が少ない場合はリーグ戦とすることがある。試合時間は前、後半ともに10分間とし、ハーフタイムのインターバルは3分とする。ノックアウト方式については、勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。ただし、決勝戦のみ前、後半5分の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。
- (5) リーグ戦の順位決定について
- ①勝ち点の合計（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）
 - ②得失点差の多い順
 - ③当該チーム間の対戦成績
 - ④抽選
- (6) 使用球
- 試合球は（公益財団）日本サッカー協会公認フットサル用ボールとする。
- (7) 組み合わせ抽選
- 監督主将会議において、抽選を行う。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は、同会議への出席受付順とする。
- (8) 競技者の交代
- 交代については、試合開始前に登録した5名の交代要員の中から交代が認められる。交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、いつでも行うことができる。競技者と交代要員が代わる場合、次の条件が遵守されなければならない。
- ①他にフットサル競技規則に規定されていない限り、ピッチから出る競技者は、自分のチームの交代ゾーンから出る。
 - ②交代要員は、交代する競技者がピッチの外に出てから入る。
 - ③交代要員は、交代ゾーンからピッチに入る。
 - ④交代は、交代要員が交代ゾーンからピッチ内に入ったときに完了する。
 - ⑤交代して退いた競技者は、その試合に再び参加することができる。
 - ⑥いずれの交代要員も、主審、第2審判に通知することなく、また試合の停止を待つことなく、ゴールキーパーと入れ代わることができる。いずれの競技者も、ゴールキーパーと入れ代わることができる。
- (9) 審判の合図
- フリーキック、PK、プレースキックで、キッカーに蹴られるタイミングを知らせる笛の代わりに、笛がなり始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。
- (10) 表彰
- 表彰は決勝戦終了後、閉会式にて行う。
- 個人表彰は、「最優秀選手賞」（1名）・「敢闘賞」（ベスト4のチームから各1名）とし、選考は競技主管である開催地のサッカー協会が行う。
- (11) その他
- 上記以外の規定は大会本部の指示に従うこと。

**グラウンドゴルフ競技
(オープン)**

・ 実施要項

1. 競技種目

近畿ろうあ者体育大会グラウンド・ゴルフ競技とする。

2. 競技規則、競技委員

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会「日本協会ルール」競技実施要項及び大会申し合わせによる。(公社)日本グラウンド・ゴルフ協会公認競技委員があたる。

3. 出場資格

・ 近畿ろうあ連盟会員とする。

4. 参加費

・ 個人参加費 (GG 大会資料付) 3,000円

5. 個人戦の順位

個人戦の順位は競技終了後、合計打数の少ないプレーヤーを上位とする。同じ場合は、最少打数の多いプレーヤーを上位とする。これも同じ場合は、次の最少打数の多いプレーヤーを上位とする。以下、同じ方法による。それでもまったく同じ場合は、主催者が事前に取り決めておいた方法による。

6. 競技方法

1) 日本グラウンド・ゴルフ協会の適用し、一部本大会要領により競技する。

2) 競技は個人戦とし、8ホール×3ラウンド(24ホール)ストロークマッチとする。

3) 競技は1コート2コース(A,B)並列制で、プレーする。

4) スタートホール・・・コースは、3コートA, B, C 設置し、3ラウンド24ホールで行う。

・ A(赤旗) ・ B(青旗) ・ C(黄旗) で区別する。

A(赤)組：A(赤) ⇒ B(青) ⇒ C(黄)

B(青)組：B(青) ⇒ C(黄) ⇒ A(赤)

C(黄)組：C(黄) ⇒ A(赤) ⇒ B(青)

5) 打順は3ラウンド共ローテーション方式とし、重複しないように順送りする。

6) スコアラーは競技者に確認の上、スコアカードのすべての箇所に「算用数字」で記入し(0の場合も)ラウンド終了毎に、速やかに本部スコアカード回収担当に提出すること。原則として、過大申告は申告通りとする。

7) スコアラーはホールインワン達成者に、リボンを渡して下さい。リボンは1人1個とし3ラウンド終了後「ホールインワン賞」と交換する。

8) ボールが他のホールに「トマリ」となった場合は、1打付加してホールポストに近づかないでクラブ本分の距離内にボールを置き次の打球を行うこと。

9) ボールを打てない場合、その位置からホールポストに近づかないクラブ1本分の距離内にボールを置き、1打付加して次の打球を行うこと。

10) 競技の進行を早める為、ホールポストの約16センチ以内に近づいたボールは「お先に」の先行を行います。それ以外の「お先に」は同じ組の競技者に同意を求めること。

11) ゲーム中の判定は競技者自身が行う。判定が困難な場合は同伴者の同意を求める。

なお判定が困難な場合は競技委員長に委ねる。

- 1 2) 止まったボールが風によって動いたとき、
プレーヤーは、打ったボールが動いている間は、ボールを打ってはならない。風によってボールが動いたときは、静止した場所からプレーをし、動いてホールポストに入った場合はトマリとする。
- 1 3) 第1打がホールポストに入ったとき、
プレーヤーは、打ったボールが1打目でトマリになったとき（ホールインワン）は、合計打数から1回につき3打差し引いて計算する。

7. スコア集計、成績表

- 1) 集計は競技委員がパソコンで処理する。合計打数の少ない順に順位を決定します。
- 2) 同じ打数の場合は1打・2打の多い方を上位とし、それでも同数の場合は、「インベスト方式」で処理しています。
- 3) BBまでの順位も①、②の方法に準じて行う。
- 4) 個人戦の成績発表は、男女別、1位～3位、5位、7位、10位、BBを表彰する。表彰時不在の場合は繰上げて特別賞として表彰する。(B・B賞)特別賞は、パソコン処理によりデータで飛賞を決定する。

8. 表彰

表彰は、競技終了後の閉会式に於いて表彰する。

9. 競技進行

進行 10:00～ 小旗降ろしでスタート
10:20～ 11:10 1回戦
11:20～ 12:10 2回戦
※昼食・休憩は、競技時間の都合により、定める
13:30～ 14:20 3回戦
14:30～ 15:20 ホールインワンゲーム
15:30～ 16:00 閉会式(成績発表・表彰)

10. 用具等

- 1) グラウンド・ゴルフで用いるクラブ、ボール、マウス、手袋は、「グラウンド・ゴルフルールブック2015」用具標準規則に定められていて、ルールの第5条で「クラブ、ボール等は定められたものを使用しなければならない」と明記されている。
- 1 1. 競技期間、タイムスケジュール等
競技期間、タイムスケジュールについては、主催者、実行委員、競技本部が協議の上、決定する。
- 1 2. 競技場の注意事項
 - 1) 本競技は、ルール・マナーを守って競技及び行動しなければならないこと。
 - 2) 競技場内では、指定場所以外一切禁煙のこと。
 - 3) 持ち物は各自の責任で保管して盗難に注意すること。
 - 4) ゴミ等の後始末は各自責任を持って、持ち帰ること。
- 1 3. 本要項の施行
この要項は2024年4月1日施行。

ゴルフ競技 (オープン)

・実施要項

1. 競技種目

近畿ろうあ者体育大会ゴルフ競技とする。

2. 競技規則、競技委員

公益財団法人日本ゴルフ協会競技実施要項

3. 出場資格

近畿ろうあ連盟会員とする。

4. クラブに関するルール

ラウンド中に持ち運べるゴルフクラブは 14 本までとする。カートに積む分も含み、キャディバッグに入れていないから大丈夫ということではない。

15 本以上持っていたことが 1 ホール目で判明したら 2 打罰、2 ホール目以降で判明した場合、4 打罰の重いペナルティーとする。

5. ボールに関するルール

ティーグラウンドからプレーしたボールでそのホールを終えなければいけない。ホール中は自由に交換することは反則となり、1 打罰とする。ホールアウト後はいつでもボールを変更することができる。また、プレー中にボールが傷ついた場合、ヒビや変形などプレーに適さない状態の場合は、別のボールと取り替え可とする。

6. ペナルティ

ルール違反をした場合ペナルティを受けます。ペナルティ分の打数を~打罰(1 打罰、2 打罰)と数える。ペナルティは ホールの合計打数にプラスされる。空振りに関して、ペナルティはありませんが、1 打とカウントされる。

例:5 打数でまわって 2 打罰だった場合、そのホールの成績は合計 7 打数になる。

7. プレーの順番

最初のホールはジャンケンやくじ引きで決め、その後のホールは、前のホールのスコアが良いプレーヤーから順番に始める。もし同じ場合は、更に 1 つ前のホールのスコアが良いプレーヤーから始める。

ティーショット(第 1 打)後の順番は、ピンからの距離に関係なく「準備ができた人」から打っても構わない。スムーズなプレー進行、安全確認のために旗や見てわかる合図等を掛け合うこと。プレーの順番を間違えてもペナルティはない。

8. ティーイングエリアでのプレー

実際のスイングで空振りをして、ティからボールが落ちた場合、うっかりボールを拾ってティに乗せ直しても無罰とする。ただし、空振りの 1 打は加算されるため、打ち直しは 2 打目になる。また、ティーイングエリアではティーショットを打てる範囲が決まっているため、気をつけること。2 つのティマークがその範囲の幅を示し、奥行きは 2 クラブレンジス以内です。範囲外で打った場合 2 打罰とする。

9. バンカーでのプレー

ボールを打つ瞬間以外で、クラブを砂につけてはいけない。反則の場合 2 打罰です。ただし、バンカー内にクラブを置いたり、急傾斜などでクラブを杖代わりに使用可。

バンカーではルースインペディメントは適用されないので注意すること。砂の硬さを確かめるために足を引きずるような、バンカーの状態を確認するような行為をしていけない。反則の場合 2 打罰とする。

10. グリーン上でのプレー

グリーンは勝負が決まるとも重要な場所であるため、グリーンに関するルールは規定されてる。

ペナルティ事例

- ボールがグリーンに乗ったとき、マークをしないで拾うと 1 打罰
- 同伴競技者のボールが動いている時にパットしてはいけません。反則時は 2 打罰
- グリーン上で同伴競技者のボールや道具に当てると 2 打罰

ボールがグリーンに乗ったとき、マークをしないで拾うとペナルティで 1 打罰とする。もし乗ってしまった場合、ボールマーカーをボールの後ろに置き、マークをつけて、ボールを拾い上げる。パッティングライン(ボールからカップまでを結ぶボールが通る仮想の線)上やその近くにある落ち葉、木の枝、石などは取り除くことが可。ただし、パッティングラインとその後方延長線をまたいだり、踏んだ状態でパットすることは禁止とする。

11. OB

OB(アウト・オブ・バウンズ)とは、各ホールで規定された場所から外のことを指す。ホールの規定エリアと OB の境界線には、目印として白い杭(OB 杭)や白線がある。打ったボールが OB に行ってしまった場合、1 打罰で、打ち直す。

ケース別対処法

- 1 打目が OB の場合、3 打目としてティショットを打ちます。
- 1 打目以降で OB の場合、打った場所に戻り、ボールをドロップし、打ち直します。
- OB に入った地点の近くでボールをドロップし、2 罰打で次のショットができる(ローカルルール)

12. 誤球(ごきゅう)

自分のボールと勘違いして同伴競技者のボールを打ってしまった場合、ペナルティを受け、自分のボールを打つ。相手のボールは元の場所に戻す。

ペナルティは、ストロークプレーなら 2 打罰、マッチプレーならそのホールの負けとする。また、誤球に気付かずにホールアウトし、次のホールのティーショットを打った時点で競技失格となる。

13. ペナルティエリア(旧ウォーターハザード)

池やクリークなどの水域を以前はウォーターハザードと呼ばれることがあり、現在はブッシュや崖なども含めて「ペナルティエリア」と呼ぶ。

ペナルティエリアからの救済方法は以下の通り。

- そのまま打つことができれば、スルーして打つ場合(無罰)
- 元の位置から 1 クラブレンジス以内で、ホールに近づかない場所にドロップした場合(1 打罰)
- ボールが最後に横切った地点とホールを結ぶ線上、その後方に基点を決め、そこから 1 クラブレンジス以内でホールに近づかない所にドロップした場合(1 罰打)

- ・ボールが最後に横切った地点から、2 クラブレンジス以内でホールに近づかない所にドロップ(1 罰打):レッドペナルティエリア(赤杭、赤線)の場合のみ

1 4. アンプレイヤブル

アンプレイヤブルとは、ボールを打つことができない状態のことを指す。

アンプレイヤブルと宣言することで、1 打罰のペナルティになりますが、救済措置を受けることができます。アンプレイヤブルはウォーターハザードには適用されません。

アンプレイヤブルの救済措置

- ・最後にプレーした所からの打ち直しの場合
- ・ボールとピンを結んだ後方線上にドロップした場合
- ・ボールから2 クラブレンジス以内でホールに近づかない所にドロップした場合(レッドペナルティエリアのみ)

1 5. ルースインペディメント

コース上にある落ち葉、木の枝、石などがプレーの妨げになる場合、無罰で取り除くことができるルールのことを指す。

カート道からの救済

- ・打ったボールがカート道で止まっていた場合、無罰で救済を受けることができる。

1 6. ボールが動いた時のルール

素振りや足が当たってしまったなど、自分が原因となってボールが動いた場合、1 打罰で打ち直すこと。ただし、ボールを探しているときに蹴ってしまった場合はペナルティとならない。元の場所に戻して打つこと。風などの自然が理由で、アドレス中にボールが動いた場合もペナルティはない。動いた場所から打つこと。

1 7. 競技方法

ダブルペリア方式とする。(OUT と IN から 9H ずつ)

1 8. スコア集計、成績表

- 1) 18H の合計打数を出し、合計の数字に「1.5」を掛けて、その数から「72」を引き、「0.8」を掛けた数字がハンディキャップとなる。
- 2) スコア担当は、打つ方の次の方とする。
- 3) 全体スコア数が少ない順位を決定する。

1 9. 表彰

表彰は、競技終了後の閉会式に於いて表彰する。

1 位、2 位、3 位、ドラゴン賞 2 名、ニアピン 2 名、BB1 名、(合計 8 名)

2 0. 競技進行

オープン競技であるため、監督主将会議にて、ルールに合わせて進行内容を審議、決定する。

【様式1】ダブルス組み合わせ同意書 ※県外の人と組む場合に提出する。「2人とも」提出が必要。

年 月 日

第51回近畿ろうあ者体育大会
実行委員会事務局 殿

所属協会名 (印)

体育部長 氏名 (印)

選手本人の氏名 (印)

ダブルス組み合わせ同意書

第51回近畿ろうあ者体育大会 競技のダブルス戦に、
下記選手と組み合わせることをここにお届けいたします。

1. 出場するダブルス種目

※①～③のいずれか()内に○をご記入ください

- ① () 男子ダブルス戦
- ② () 女子ダブルス戦
- ③ () 混合ダブルス戦

2. 組み合う選手

フリガナ

氏名 (男・女) (年齢 歳)

所属協会名

組み合う選手の大会参加申し込み等は、本人の所属協会を通して行ないます。

以上

【提出先】

4月14日(日)の参加申込締切日までに、所属協会体育部長へ提出すること。
FAXによる提出や、参加申込締切日を過ぎての提出は認めない。
所属協会体育部長は、組み合う選手の所属協会体育部長へコピーを送ること。

【様式2】代理届・委任状

年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名

監督・主将 氏名

印

※監督・主将どちらかを○で囲んでください

委 任 状

第51回近畿ろうあ者体育大会 競技の監督主将会議に
出席できないため、次の者を代理人に指名し、権限を委任します。

チーム名

代理人氏名

(男・女)

※代理人は、登録選手またはコーチ、所属協会体育部長に限る

以 上

【提出先】

監督主将会議**開始時間**までに、所属協会体育部長へ提出すること。

所属協会体育部長は、実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管すること。

※監督主将会議欠席による不利益については、大会主催者側は責任を負わない。

【様式3】監督・コーチ変更届

年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名

体育部長 氏名

印

監督・コーチ 氏名

印

※監督・コーチどちらかを○で囲んでください

監督・コーチ 変更届

(↑どちらかを○で囲んでください)

第51回近畿ろうあ者体育大会 競技の監督・コーチを、
下記の通り変更しますので、ここにお届けいたします。

【登録抹消】氏 名 (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 番 (きこえない人・きこえる人)

↓

【新規登録】氏 名 (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 番 (きこえない人・きこえる人)

以 上

※背(ゼッケン)番号を要する場合、必ず記入すること。

※監督が選手兼任の場合、登録選手変更届(様式4)も一緒に提出すること。

【提出先】

監督主将会議開始時間までに、個人参加申込書及び誓約書、大会参加料および近畿ろうあ連盟体育部登録料を添えて、所属協会体育部長へ提出すること。
所属協会体育部長は実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管すること。

【様式4】登録選手変更届

年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名

体育部長 氏名

印

チーム監督 氏名

印

登録選手変更届

第51回近畿ろうあ者体育大会 競技の登録選手を、
下記の通り変更しますので、ここにお届けいたします。

【登録抹消】氏名 (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 番

守備位置

↓

【新規登録】氏名 (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 番

守備位置

以上

【提出先】

監督主将会議開始時間までに、個人参加申込書及び誓約書、大会参加料および
近畿ろうあ連盟体育部登録料を添えて、所属協会体育部長へ提出すること。
所属協会体育部長は実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管すること。

【様式5】選手追加届

年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名

体育部長 氏名

印

チーム監督 氏名

印

選手追加届

第51回近畿ろうあ者体育大会 競技の登録選手を、
下記の通り追加しますので、ここにお届けいたします。

【追加登録】氏名 (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 番

守備位置

以上

【提出先】

監督主将会議開始時間までに、個人参加申込書及び誓約書、大会参加料、
近畿ろうあ連盟体育部登録料を添えて、所属協会体育部長へ提出すること。
所属協会体育部長は実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管すること。

【様式6】ボウリング競技 メンバー及び投球順変更届

年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名

体育部長 氏名

印

監督・コーチ 氏名

印

※監督・コーチどちらかを○で囲んでください

メンバー及び投球順変更届

第51回近畿ろうあ者体育大会 ボウリング 競技のメンバー及び投球順を、
下記の通り変更しますので、ここにお届けいたします。

【変更前】

【変更後】

氏名①

(男・女)

氏名①

(男・女)

氏名②

(男・女)

氏名②

(男・女)

氏名③

(男・女)

氏名③

(男・女)

氏名④

(男・女)

氏名④

(男・女)

(補欠)

氏名⑤

(男・女)

氏名⑤

(男・女)

以上

【提出先】

監督主将会議の終了時間までに、ボウリング競技技術委員へ提出すること。
ボウリング競技技術委員は実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを
保管すること。